

# 種智院大學 同窓會報

第28号

平成14年12月1日

種智院大学同窓会

〒612-8156

京都市伏見区向島西定請70

TEL (075) 604-5600 FAX (075) 604-5610



10年がかりで完成した當麻曼陀羅と中村幸真教授（本文6頁）

## 目次

### 「就任のご挨拶」

同窓会会長 森 見章

### 「ご挨拶」

種智院大学学長 頼富本宏

### 種智院大学同窓会総会

新役員

名簿編集委員

参加者一覧表

### 同窓会平成13年度事業報告

### 同窓会平成14年度事業計画

今井圓明前学長と卒業生・在学生  
徒歩で四国遍路に

### 「同窓会会員名簿」発刊のご案内

ホームページリニューアルのお知らせ

### 学内だより

第2回学生仏画展

学園得度式

学園祭

### 会員消息

### 入試案内

常楽会開催のお知らせ

種智院大学公開講座のご案内

卒業式のご案内

## 就任のご挨拶

同窓会会長 森 見章



会員の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのことと存じます。

私は、去る7月2日に開催されました同窓会総会におきまして、会長に選任されました。まったく青天の霹靂とも言ふべき、突然のご指名であり、ただただ驚き入っている次第でございます。池田登輝前会長様のもとで副会長を務めさせていただいていたとはいえ、会務にはうとく、はなはだ力不足であります。会員の皆様のお力添えをいただきまして、なんとか向こう2年間の任期を恙なく務めさせていただきたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

私が同窓会に関して従来からずっと感じていたことに、若い世代の会員の皆様の同窓会活動に対する無関心、不参加があります。学年単位、あるいはクラブ単位では集まったりしておられるのかも知れませんが、同窓会総会のような場にはほとんど集まっていただけなのが実情です。このままでは同窓会の活力が失われてしまいかねません。そこで今回、昭和40年代から60年代に卒業された方に副会長と監査に就いていただき、役員的大幅な若返りを図りまし

た。これにより、より幅広い層が同窓会活動に参加してくださるようになることを期待しております。

また少子化がますます進み、大学を取り巻く環境は厳しさを増しております。いかに新入生の数と質を確保するかが大学経営の上で最も重要な課題となっております。そのために、種智院大学の名前をより広く知らしめるべく、大学側においては広報活動に力を入れようとされているところです。我々同窓会といたしましても、学生を確保することは組織の維持・発展のために不可欠であります。そこで大学の広報活動に協力するため、広報費を援助し協力することといたしました。

さらに来年3月には、5年ぶりに会員名簿を発刊する予定で、現在その編集作業を進めております。頒布方法などにつきましては改めてご案内させていただきますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

これらを手始めとして、同窓会の活性化のため、さまざまな取り組みを行ってまいりたいと存じます。大学の講堂に立派な大日如来様をお迎えできたことなどはじめ、池田前会長様が果たしてこられた数多くの業績には及ばぬことと思っておりますが、誠心誠意、務めさせていただき所存でございます。皆様方のご指導・ご鞭撻を切にお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶

種智院大学学長 頼富本宏



同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと存じます。また平素は、大学経営にもご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

私は本年4月1日をもちまして、前学長今井圓明先生から種智院大学学長の職を引き継がさせていただきました。今井前学長は、10年間に及ぶ在任期間中に、向島キャンパスの建設、仏教福祉学科の創設、教授陣の定年年齢の引き下げなど、活力のある大学づくりのために、さまざまな改革を実施され、大きな成果を挙げてこられました。私ははなはだ非力ではありますが、その成果を踏まえ、より発展させていくことに邁進いたしたいと考えております。

今、時代は少子高齢化が進み、学生の確保、しかも高い水準の学生を確保することが急務であります。本学は、今井前学長のご努力の結果、かつての本当に小さな大学であったものから、今では1学年160名の定員を数えるまでになっております。ありがたいことには、学生が増えただけでなく、これまでの学問の蓄積から、法を伝えるこ

とによって新たな人材を数多く生み出してきました。さらに、仏教福祉学科においては、単なる福祉ではなく、仏教、とくに密教の心を踏まえた福祉を追求し、社会に貢献していく基盤固めができたと思っております。

このような学問の充実、水準の向上によって、大学としての魅力が増し、かつて学生は古義各派だけであったものが、今では豊山派、智山派からも多くの学生が入学しています。そして今年実施いたしました秘蔵記講伝には、約370名の方がご参加くださいました。こういうものを中心に、今、教相ならびに事相の復興を中心に、加えて『密教人名辞典』『事相辞典』といった大著の編纂の準備をしております。かつてラダック地方の密教調査の時に非常に盛り上がったような形で、基礎的なものを踏まえながら、新たな密教の発展につなげていければと思っている次第でございます。

21世紀は「こころの世紀」とも言われております。「ひと」を創り、「こころ」を磨き、自分と世界の「いのち」の大切さを学ぶという、1200年もの間受け継がれてきた本学の建学の精神は、まさに時代の要請に合致したものであると考えます。「古くて新しい大学」を標榜し、会員の皆様とともに歩んでまいりたいと存じます。今後ともよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。

# 種智院大学同窓会総会



平成14年度同窓会総会は7月2日（火）、母校の講義室401において開催された。

池田登輝会長の挨拶の後、今井圓明前学長が10年間の在任中を振り返りつつ挨拶された。続いて4月から就任された頼富本宏新学長が、福祉と密教を柱とし、学問水準をあげて魅力のある大学にしていきたいと抱負を述べ、同窓会との連携の重要性を訴えられた。

この後、平成13年度の事業報告、決算、役員改選および森見章新会長選任について諮られ、満場一致で承認された。森新会長は続いて挨拶に立ち、若い人たちの参加を促し同窓会活性化を図ると決意を述べた。

この後、平成14年度の事業計画と予算を審議、特に

平成15年3月発行の同窓会会員名簿作成について詳細な議論が交わされた。その内容は次のとおりである。

- ①同窓会会員名簿の発刊は、今年度卒業生の記念品とするため、平成15年3月5日とする。
- ②発刊に向けて、宛先不明会員の判明と同窓会会員名簿の販売、広告収集を行うため、追跡調査を4回行う。
- ③追跡調査プランの確認。
- ④編集方針は前号に準ずる。
- ⑤これら全ての制作を株式会社廣濟堂に依頼する。

この同窓会会員名簿の発刊に向けて、同窓会では新たに名簿委員会を立ち上げることが承認され、総会は終了した。

## 新役員

会 長		
森 見章 (昭23)	兵庫	
副会長		
法本 弘文 (昭23)	大阪	
東田 教範 (昭24)	西中国	
足立 有教 (昭28)	兵庫	
高松 龍暉 (昭32)	兵庫	
大林 教善 (昭47)	香川	
鷲尾 遍隆 (昭53)	滋賀	
監 査		
嶋 裕海 (昭45)	京都	
佐野 剛空 (昭60)	大阪	

## 名簿編集委員

委員長		
法本 弘文 (昭23)	大阪	
委員		
蓮沼 雅春 (昭23)	大阪	
佐伯 龍幸 (昭24)	奈良	
高松 龍暉 (昭32)	兵庫	
北村 太道 (昭36)	大阪	
土屋 博秀 (昭37)	大阪	
藤井 向妙 (昭41)	京都	
国定 道晃 (昭50)	京都	
田中 栄心 (昭54)	京都	
吉田 大治 (昭60)	京都	
上村 法玄 (平 3)	京都	

## 参加者一覧表

氏 名	卒期	氏 名	卒期	氏 名	卒期
安東 法秀	昭18	高松 龍暉	昭32	湯通堂法姫	平 8
森 見章	昭23	井上 亮淳	昭33	高橋 弘道	平 8
法本 弘文	昭23	祝 宏友	昭35	笹尾 正浩	平 9
加藤 義昭	昭23	北村 太道	昭36	河根 智江	平10
手塚 利貞	昭23	嶋 裕海	昭45	岡野 雲慧	平10
蓮沼 雅春	昭23	都筑 大乘	昭47	植村 千夏	平11
今井 圓明	昭24	国定 道晃	昭50	中村 阿貴	平11
佐伯 龍幸	昭24	鷲尾 遍隆	昭53	田中 富三	平12
山田 達圓	昭24	玉山 順彦	昭55	佐藤 博一	平13
生駒 研性	昭25	宮崎 快克	昭56	飯田 友子	平13
石坪 昭真	昭25	北尾 隆心	昭56	後藤亜耶乃	平14
荒谷 恵乗	昭25	宇垣 泰明	昭57	田井 秀成 準	
池田 登輝	昭28	高橋 良海	昭58	西崎 照明 賛助	
足立 有教	昭28	佐野 剛空	昭60	頼富本 宏 教員	
加門 得勇	昭28	沖津 祐照	平 2	見玉 義隆 教員	
福岡 尊光	昭30	中塚 浩子	平 2	今井 淨圓 教員	
北村 謙臣	昭30	中江 木隆	平 5	佐伯 俊源 教員	
手塚 節	昭31	石山 陽圓	平 8		

## 種智院大学同窓会 平成13年度事業報告

- 一、事務局会議開催  
日時：平成13年5月24日(水)午後5時45分から  
場所：種智院大学 第3会議室
- 一、役員会開催  
日時：平成13年6月2日(土)午後4時から  
場所：ホテルグランヴィア大阪19階「北京」
- 一、事務局会議開催  
日時：平成13年6月7日(水)午後5時45分から  
場所：種智院大学 第3会議室
- 一、幹事会開催  
日時：平成13年6月30日(土)午前10時30分から  
場所：種智院大学 4階 第1会議室
- 一、総会開催  
日時：平成13年6月30日(土)午後2時から  
場所：種智院大学 401講義室
- 一、記念講演開催  
日時：平成13年6月30日(土)午後3時から  
場所：種智院大学 204講義室  
演題：「日本仏教と儒教」  
講師：大阪大学名誉教授 加地伸行先生
- 一、懇親会開催  
日時：平成13年6月30日(土)午後5時30分から  
場所：ホテル日航プリンセス京都「カトリアの間」
- 一、会報の発行  
第27号 平成14年1月31日
- 一、卒業生への記念品贈呈  
日時：平成14年3月16日(土)  
記念品：同窓会会員名簿・腕輪念珠
- 一、各支部活動報告  
大阪支部 平成13年度総会  
日時：平成13年5月29日(火)午後7時30分から  
場所：「すたんど割烹 日本」

## 種智院大学同窓会 平成14年度事業計画

- 一、事務局会議開催  
日時：平成14年6月5日(水)午後5時45分から  
場所：種智院大学 第3会議室
- 一、幹事会開催  
日時：平成14年7月2日(火)午前12時から  
場所：種智院大学 4階 第1会議室
- 一、開会・物故者慰霊法要  
日時：平成14年7月2日(火)午後2時40分から  
場所：種智院大学 401講義室
- 一、総会開催  
日時：平成14年7月2日(火)午後2時50分から  
場所：種智院大学 401講義室
- 一、記念講演開催  
日時：平成14年7月2日(火)午後4時30分から  
場所：種智院大学 401講義室  
演題：「不思議なつながり—般若心経と四国遍路と曼荼羅」  
講師：種智院大学学長 頼富本宏先生
- 一、懇親会開催  
日時：平成14年7月2日(火)午後6時30分から  
場所：リーガロイヤルホテル京都2階「紅葉の間」
- 一、会報の発行  
第28号 平成14年11月末日予定  
第29号 平成15年3月末日予定
- 一、卒業生への記念品贈呈  
日時：平成15年3月11日(火)  
記念品：同窓会会員名簿・腕輪念珠

## 種智院大学同窓会

## 「同窓会会員名簿」発刊のご案内

種智院大学同窓会では、このたび会員名簿を新しく発刊することになりました。前回の名簿から5年が経過して会員数は約2倍の3千名になり、異動も多数になって実情と合わなくなってまいりました。併せて、会員相互の親睦と同窓会の活性化を図りたいと思いますので、下記の通りご協力のほどよろしくお願いいたします。

- コンピュータによる自動編集
- 会員約3,000名を掲載
- 現姓名(旧姓名)・現住所・電話番号・勤務先名等を記載

- 人名索引・地域(支部)別索引付
- グラビア頁等を含めて約200頁
- 発行予定：平成15年3月発刊予定

## 同窓会会員名簿は全て“予約限定出版”です!

- 会員の皆様には是非購入下さるようお願いします。
- 名簿頒価：3,500円(送料含む)

## 広告掲載のご協力をお願いします!

- 広告掲載の方には名簿を1冊無料進呈致します。  
1頁 60,000円 1/2頁 30,000円  
1/4頁 20,000円 1/8頁 15,000円
- 賛助ご協力の方には、名簿を1冊進呈し、会員名簿の巻末にお名前を掲載いたします。  
一口 10,000円より

種智院大学同窓会事務局 〒612-8156 京都市伏見区向島西定請70

問合先：株廣濟堂 フリーダイヤル 0120-058-651 受付時間：10:00~12:00・13:00~17:00(土・日、祝日を除く)

今回の名簿発刊は、調査から印刷までの業務を全面的に株廣濟堂へ委託しております。

調査ハガキを返信いただけなかった方には株廣濟堂の調査担当から電話をさし上げる場合があります。

## 今井圓明前学長と卒業生・在学生徒歩で四国遍路に

—学祖弘法大師への報恩と母校発展祈る—



種智院大学前学長今井圓明師は、退任に際し「宗祖であり学祖である弘法大師のお蔭で十年間学長職が無事に勤められた。そのご恩に感謝し併せて大学発展を祈るため四国八十八ヶ所の遍路を發願した。学生と一



緒になるべく徒歩で行い、大師の修行の心を尋ねたい」と述べられた。学生有志がそれに応え、前学長と卒業生と在学生

8名で、夏期・春期の休暇を利用した3年間6回の遍路をすることに決定した。第一回目は9月9日から11日まで、折からの残暑の中、一行は阿波一国23ヶ寺を、一部自動車を利用したものの、可能な限り徒歩で巡拝した。



参加者の一人は「交通手段が発達した現代において、歩くという行為はととても新鮮で、御大師様の足跡をたどる得がたい体験だった。実際に遍路道を歩いて経験することの重要性も再認識した。無宗教を標榜する今日で、確かな信仰の息吹を感じることができ、とても有意義だった。来春の遍路が待ち遠しい」と述べ、大変好評であった。参加者は下記各師。

今井圓明（昭和24）、手島斎昭（平成14）、字喜多良充（4回生）、沼尻憲尚（3回生）、青木倫裕（2回生）、石原澄明（2回生）、越智翼（2回生）、蒲池和憲（2回生）、村上泰教（2回生）

<http://www.shuchiin.ac.jp>



ホームページリニューアルのお知らせ

同窓会では、種智院大学の広報活動に協力していく予定です。その最初の活動として、ホームページをリニューアルいたしました。ぜひ皆様も一度ご覧下さい。

## 学内だより

## 第2回学生仏画展



平成14年10月18・19の両日、第2回学生仏画展が種智院大学講堂で開催された。

当日は、講堂正面に中村幸真教授が10年がかりで描かれた、縦4m横4mの原本と同寸の當麻曼陀羅が掛けられ、場内には中村教授や卒業生・在学生らの仏画50点、扇面40点の力作が展示された。

また19日は、午後2時より中村教授の「中国思想からみた當麻曼陀羅」の講演が行われた。講演の内容は、当麻寺所蔵の原本は唐代中国製であると考えられ、画面には神仙思想の影響を見ることができ、當麻曼陀羅の成立には則天武后の関わりが伺えることなど、実に興味深い内容であった。詳しい内容については、今年度発行される「密教學」39号に掲載される。



講演の後、3時30分と4時30分の2回、大学の豊山派学生が中心になり声明・法式を研鑽するサークル豊山蓮聲会の法要が勤められ、会場は浄土曼荼羅さながらであり、訪れた観覧者たちを圧倒していた。

観覧者は、遠く東京・千葉などからも大勢訪れ、記念講演では200部用意した資料が足りなくなり、急速スタッフが100部増刷に走る一幕があるほど盛況であった。

なお、第3回学生仏画展は来秋開催の予定。

## 学園得度式

平成14年度の学園得度式は、9月27日（金）午前9時30分、種智院大学（種智院道場）講義



室401において頼富本宏学長戒師のもと執行され、6名の受者が得度した。式終了後、戒師頼富学長から「ただ今、6名の新発意が新たに弘法大師の弟子になられた。自分も今年就任したばかりで、受者の方々と同じ新たな気持ちでより一層頑張りますので、皆さんもこれから仏道に精進してほしい」と訓戒を述べられた。受者を代表して喜多川義大君が「自分たちは、学長先生を始め皆様のお蔭で今日を迎えることができました。今授けられた戒を守るようにし、立派な僧侶を目指します」とお礼の言葉を述べて、得度式は無憂成満した。

（ ）内は宗派・師僧名

喜多川義大（東寺真言宗・喜多川義寛）、石橋祐仁（東寺派・石橋清純）、井上崇広（大覚寺派・今川泰伸）、斎藤覚雲（東寺真言宗・頼富学長）、峯岸澄榮（真言律宗・馬場賢榮）、古川妙祐（東寺真言宗・頼富学長）



## 学園祭

平成14年11月16・17日の二日間にわたって、学園祭が種智院大学で開催された。今年のテーマは、どんな小さなきっかけでも大切にしたいという思いから、「きっかけ」となった。



16日には夕方から野外コンサートや、17日には11時30分から学園祭メインイベントの吉本お笑いLIVEが行われ、FUJI-



WARA、ケンドーコバヤシ、パッファロー吾郎、フットボールアワーの四組の吉本興業の若手芸人が会場を沸かせた。また、17日午後2時から向井啓二本学講師が特別講演「ベトナムの子供たち」を行い、他に各講義室では「にんげんだもの」などで知られる相田みつを氏や絵本作家長谷川聡子氏の作品展、サークル作品展などが行われた。屋外のマンダラ広場には各サークルが模擬店を出し、美味を堪能し、珍味に絶句する場面も見られ、両日とも大勢の入場者で賑わった。

## 会員消息

### 慶事 おめでとうございます

奥野善之様 (平成14)	平成14年 6月17日	ご結婚	熊倉正則様 (平成12)・千品様 (旧姓江川 平成9)		
鈴木将之様 (平成11)	平成14年10月12日	ご結婚		平成14年11月 9日	ご結婚
熊田峰典様 (平成13)	平成14年10月27日	ご結婚	三浦孝将様 (平成12)	平成14年11月24日	ご結婚
			森 孝明様 (昭和45)	平成14年11月30日	ご晋山

### 訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

野口龍弘様 (昭和13)	平成13年 1月 2日	ご遷化	鳥越正道僧正 (賛助・前副学長)	平成14年10月19日	ご遷化
					京都府 神泉苑名誉住職
森智堅僧正 (昭和14)	平成13年 2月11日	ご遷化			
					埼玉県 弘法寺住職
淵川利昭僧正 (昭和23)	平成13年 4月14日	ご遷化			徳島県 雲辺寺住職
棟広照文僧正 (昭和32)	平成13年 9月 1日	ご遷化			兵庫県 大善寺住職
江坂宗純僧正 (昭和22)	平成14年 1月26日	ご遷化			広島県 寶幢寺住職
宇喜多元洞僧正 (昭和14)	平成14年 3月27日	ご遷化			広島県 医王寺住職
能勢真乘様 (賛助)	平成14年 5月14日	ご遷化			京都府
民岡哲雄僧正 (昭和9)	平成14年 7月18日	ご遷化			兵庫県 西林寺名誉住職
衣笠丹章僧正 (昭和22)	平成14年 8月 4日	ご遷化			岡山県 普門院住職
藤井真禪僧正 (昭和15)	平成14年 8月29日	ご遷化			広島県 広徳院名誉住職
八木龍生僧正 (昭和24)	平成14年10月 9日	ご遷化			広島県 明星院名誉住職

### - 鳥越正道前副学長遷化 -

種智院大学で多年にわたり副学長として教職員・学生の指導にあられた、神泉苑名誉住職の鳥越正道大僧正は、平成14年10月19日午前1時30分世寿81歳をもって遷化された。哀悼。

先生は大正11年10月20日出生。昭和23年京都大学卒。22年神泉苑住職に就任。東寺真言宗教学部長、責任役員、審査委員等歴任。平成11年神泉苑名誉住職。

種智院大学においては、昭和36年学監に就任。その後昭和51年副学長・教授、真言宗京都学園理事等を歴任し昭和63年退職。地域社会においては、民生児童委員、教誨師等つとめ、平成9年大僧正に昇補し、多年の功績によって密教学芸賞を受賞された。

温厚篤実な先生を慕う人も多く、その遷化が惜しまれている。

## 入 試 案 内

新入生奨学金制度を平成14年度から本学の2月・3月の入試とセンター試験利用に導入!!  
高得点者(10名以内)奨学金給付生に選ばれます。

入 試 種 別	試 験 日	出 願 期 間	受 験 科 目	
指 定 校 推 薦 2	12/20(金) 東京会場 12/21(土) 本学会場	12/2(月)~12/16(月)	作文※、面接	
一 般 公 募 推 薦 2			文章表現	
宗 門 関 係 者 推 薦 3			文章表現、面接	
編 入 学 試 験 3			小論文※、面接	
社 会 人 入 試 3				
セ ン タ ー 試 験 利 用	(個別試験なし)	1/20(月)~2/8(土) 2/20(木)~3/8(土)	国語から1科目選択、外国語、歴史、公民、数学から1科目選択し計2科目	
一 般 入 試 1 (作文型)	1/24(金)	1/6(月)~1/20(月)	文章表現	
宗 門 関 係 者 推 薦 4			小論文※、面接	
編 入 学 試 験 4				
社 会 人 入 試 4				
一 般 入 試 2 (教科型)	2/25(火)	2/7(金)~2/21(金)	国語(国語I・II/現代文のみ)、日本史B、外国語(英語)から2科目以上を選択	
宗 門 関 係 者 入 試 1			文章表現	
編 入 学 試 験 5			小論文※、面接	
社 会 人 入 試 5				
一 般 入 試 3 A (教科型)	3/24(月)	2/28(金)~3/19(水)	国語(国語I・II/現代文のみ)、日本史B、外国語(英語)から2科目以上を選択	
一 般 入 試 3 B (作文型)			文章表現	
宗 門 関 係 者 入 試 2				
編 入 学 試 験 6				小論文※、面接
社 会 人 入 試 6				

※作文および小論文は出願時提出

- 種智院大学の入試は、今後本学で4回・センター試験利用で2回、合わせて6回。ご希望の日程と入試タイプを探して受験できます。
- 一般入試2、3A(2月・3月入試)とセンター試験利用で、奨学金給付生を選考します。2年次以降は特待生制度による授業料減免も可能です。

大学案内・入学願書についてはハガキまたはお電話(FAX可)、ホームページで入試課までご請求下さい。

※なお、直接お越しの場合は月曜日から土曜日、AM9:00~PM5:00(土曜日はPM1:00まで)  
種智院大学入試課 TEL 075-604-5600・FAX 075-604-5610・http://www.shuchiin.ac.jp

### 平成14年度 第51回卒業式

日時：平成15年3月11日(火) AM10:00~  
場所：種智院大学講堂

### 種智院大学公開講座のご案内

1月11日(土) 午後1時~午後2時30分

#### アジアの子どもたち

向井啓二(種智院大学講師)

日本の子どもたちが抱えている問題の背景に「社会」の様々な要因があるのと同じく、アジア諸国の子どもたちが抱えている問題にもそれぞれの「社会」的背景があります。そうしたことを事例を通じてお話しし、考えてみたいと思います。

会場：講義室306

※聴講料無料・事前申込不要

平成14年度

## 常 楽 会

テーマ 釈迦の遺せしもの

12月14日(土)

8時30分 法要(講堂)、舍利講式

14時 記念講演(講義室306)

「インド哲学思想と密教」

真言宗智山派管長

総本山智積院化主

宮坂有勝陛下

15時 戯曲説法 ほたん会

※お抹茶の接待付き

一般の方もお越し下さい